







景観形成重要建造物等指定一覧（平成17年度第1次指定）

平成18年4月1日指定

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
1-1	神戸	日本基督教団 神戸栄光教会	神戸市 中央区 下山手通	震災復興のシンボルでもあり、再び神戸のランドマークとして市民に親しまれている。	
1-2	阪神南	芦屋市立図書館 打出分室・芦屋市立打出教育文化センター	芦屋市 打出小槌町	明治末期の銀行の移築。周辺住民の強い要望を受けて保存され、住民のコミュニティの場として活用されている。	
1-3	阪神北	宝塚ホテル(※)	宝塚市 梅野町	大正15年創業の伝統と格式を持つ京阪神間の名門ホテル。宝塚の顔であり、ホテル前の楠が一体となっており、古くから市民に親しまれている。	
1-4	東播磨	高砂商工会議所 会館	高砂市 高砂町	昭和初期の銀行。江戸時代から港を中心として栄えた高砂市堀川地区のほぼ中央に位置し、地区のランドマーク的な建物である。	
1-5	北播磨	旧来住家住宅	西脇市 西脇	大正時代の旧家。市への寄附により、西脇TMOが管理運営、地域住民の活動の場として親しまれている。	
1-6	中播磨	香寺民俗資料館	香寺町 中仁野	江戸時代の豪商の移築。田園風景の中に落ち着いたたたずまいの政治や経済、文化等も知ることができる地域コミュニティ施設である。	

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
1-7	西播磨	瓜生原二郎家住宅	佐用町 平福	因幡街道の宿場町である平福の中心に位置する江戸時代の後期の民家3棟で、佐用川に面して建ち、石垣、土蔵群が特徴。老朽化に伴い、佐用町と地元住民が一体となって保存に努めている。	
1-8		瓜生原恒男家住宅	佐用町 平福		
1-9		前川家住宅	佐用町 平福		
1-10	但馬	寿徳山 西光寺	新温泉町 浜坂	歴史的なまちなみや江戸時代の石垣、土塀が残る味原川沿いの中心的な建造物。味原川清流会等地域住民による景観保全の取り組みの拠点となっている。	
		浜坂先人記念館以命亭	新温泉町 浜坂		
1-11	丹波	西尾家住宅	篠山市 大山上	江戸時代後期の俳人西尾武陵の生家。旧山陰街道の歴史的景観に寄与する大山地区のランドマーク。コンサート等イベント会場としても活用。	

※除却により滅失したことから、R4. 4. 26付けで指定を解除した。

景観形成重要建造物等指定一覧（平成18年度第2次指定）

平成19年3月30日指定

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
2-1	阪神南	関西学院大学 時計台、 ランバス記念 礼拝堂（※）	西宮市 上ヶ原	昭和4年のヴォー リズによる建築。大 学の代表的な建築物 としてだけでなく、 地域の顔として親し まれている。	
2-2	阪神北	宝塚音楽学校 旧校舎	宝塚市 武庫川町	昭和10年に建設さ れ、宝塚歌劇団生徒の 養成の場として受け 継がれ、今後は、まち づくりの拠点として 整備される。	
2-3	東播磨	三連蔵	高砂市 高砂町	明治初期に建造さ れた当建造物は、妻側 を見せた蔵が3つ連 なったものであり、景 観形成地区の中の重 要なスポットとなっ ている。	
2-4	北播磨	小野市立好古館	小野市 西本町	昭和12年、北播磨地 域最初の鉄骨造で小 学校の講堂として建 てられたものを全面 改修し、地域の貴重な 歴史・文化の資料館と して利用している。	
2-5	中播磨	柳田國男生家	福崎町 西田原	江戸時代の一般的 な農家住宅として、県 指定民俗文化財とな っている。日本民俗学 柳田國男の生家であ り、民俗学の源とな った記念すべき建造物 である。	

※景観重要建造物に指定(R1. 8. 14)されたことから、同日付けで指定を解除した。

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
2-6	西播磨	堀家住宅(※)	たつの市 龍野町	江戸時代、徳川一橋家の大庄屋格の家として存在。市道に建つ大クスノキと白い塀が美しい景観を織りなしている。	
2-7	但馬	城崎温泉 橋梁群	豊岡市 城崎町	和風を基調とした街並み、外湯に浴衣姿、大谿川の兩岸の柳桜並木とともに連続して架かる太鼓橋群は、温泉のまち城崎を代表する風景を構成している。	
2-8		旧養父合同 銀行大屋支店	養父市 大屋町	養父市大屋町に建った初めてのRC建造物であり、木造2階建てが続く地域で、現在もランドマークとなっている。	
2-9	丹波	蘆田家住宅	丹波市 青垣町	養蚕農家の発展と共に確立された2階建て茅葺農家の特徴を示した貴重な建物である。季節ごとに地域のイベントに活用するなど地域活動の拠点となっている。	
2-10	淡路	阿万上町公会堂他 (公会堂、消防団屯所、だんじり小屋、半鐘台)	南あわじ市 阿万上町	島内においてもわずかしか残っていない半鐘台とだんじり小屋、消防団屯所及び地域の伝統文化の継承場所である公会堂が南淡路特有の風景を創出している。	

※たつの市指定文化財に指定(H22.3.26)されたことから、同日付けで指定を解除した。

景観形成重要建造物等指定一覧（平成19年度第3次指定）

平成20年3月28日指定

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
3-1	阪神南	ユニチカ記念館	尼崎市東本町	明治33年にユニチカ前身の尼崎紡績が本社事務所として建築。県内に残る本格的な煉瓦造事務所として貴重である。	
3-2	阪神北	静思館	猪名川町上野	町で最も大きい民家の一つとされる純和風建築の「旧富田邸」を町が譲り受け、文化活動や交流活動の場として役立てている。	
3-3	東播磨	茨木酒造	明石市魚住町	洋館を中心に江戸時代からの仕込み蔵などが立ち並び、酒どころ「西灘」を代表する景観を残している。酒蔵を利用したイベントも盛況。	
3-4	北播磨	西脇小学校(※)	西脇市西脇	明治6年に開校、平成元年に大改修されたが、木造校舎の良さをそのまま残している。「火垂るの墓」の映画ロケにも利用された。	
3-5	中播磨	難波酒飯店	神河町中村	但馬街道沿いに発達した宿場町である粟賀町・中村地区の中心地に位置する伝統的様式の町屋。当時から酒造を営み、地区のシンボリック建物となっている。	

※国指定重要文化財に指定(R3. 8. 2)されたことから、同日付で指定を解除した。

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
3-6	西播磨	うすくち龍野 醤油資料館	たつの市 龍野町	昭和7年に菊一醤油の本社事務所として建てられた洋館風建築。景観形成地区のシンボルとして、江戸期からの古い街並みによく溶け込んでいる。	
3-7		うすくち龍野 醤油資料館別館	たつの市 龍野町	旧龍野醤油同業組合事務所。資料館本館とともに、景観形成地区のシンボルとして歴史的な街並みを代表する存在となっている。	
3-8	但馬	生野まちづくり 工房「井筒屋」	朝来市 生野町	江戸時代に吉川家が代々営んでいた生野銀山の郷宿。平成11年に旧生野町に寄贈され、現在は地区のまちづくり活動や観光の拠点施設となっている。	
3-9	丹波	平岩家住宅	丹波市 青垣町	江戸時代に代官屋敷として建築され、現在も当時の代官所の様子がうかがえる。丹波の風景として残すべき貴重な建物。	
3-10	淡路	菊川家住宅	南あわじ市 湊里	戦国時代に築造された湊城の城跡敷地に建つ由緒ある旧家。現在も住宅として使用されており、湊里村を代表するシンボリック的存在である。	

景観形成重要建造物等指定一覧（平成 20 年度第 4 次指定）

平成 21 年 3 月 31 日指定

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
4-1	阪神南	武庫川女子大学 甲子園会館（旧甲子園ホテル）	西宮市 戸崎町	F.L.ライトの弟子である遠藤新の設計により、関西を代表するリゾートホテルとして建築された。国内に残る数少ないライト式建築として貴重であり、現在は大学の教室などとして利用されている。	
4-2	阪神北	三田学園 中学本館及び東館	三田市 南ヶ丘	イギリスのパブリックスクールを模して建築されたとされる明治末期の木造校舎。創建当時の姿をほぼそのまま残し、現在も大事に利用され続けている。	
4-3		川西市郷土館 （旧平安家住宅）	川西市 下財町	多田銀銅山最後の精錬所を経営していた旧平安家の邸宅であり、大正期の生活を伺い知ることができる貴重な建物。現在は郷土館として広く開放されている。	
4-4	東播磨	加古川市立 加古川図書館	加古川市 加古川町	昭和10年に旧加古川町公会堂として建てられた洋風建築であり、現在は図書館として地域住民に親しまれている。旧加古川町の中心部に残る唯一の近代建築として貴重。	
4-5	中播磨	旧辻川郵便局	福崎町 西田原	銀の馬車道沿線の中間地点であり、交通の要所であった旧辻川地区に位置する希少な擬洋風建築。歴史的環境に恵まれた当地域の中で景観のポイントとなっている。	
4-6	西播磨	濱本家住宅	相生市 相生	廻船問屋として幕末期に財をなした商家。現在も住宅として使用されており、明治初期の格調高い凝った作りをほぼ完全にとどめている。	

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
4-7	西播磨	おのず 小野豆の 枝垂れ桜	上郡町 小野豆	標高 300mの小さな集落のふもとに位置する枝ぶりの見事な一本桜。集落のシンボルであり、桜の隠れた名所となっている。	
4-8	但馬	赤木家住宅	豊岡市 引野	砂防の神様と言われた赤木正雄の生家。水防対策に基づき設計された広大な敷地に建つ住宅で、周辺の緑豊かな田園風景に溶け込んでいる。	
4-9	丹波	ちゅうりゅうしゃ 中立舎	篠山市 日置	江戸時代から明治期まで庶民の道徳である心学を教えた私学の道場であった。平成 19 年に修築され、現在は地域のまちづくり活動の拠点として活用されている。	
4-10	淡路	高見家住宅	淡路市 江井	海運業で栄え、江戸時代に島内屈指の富を築いた江井浦中心部に位置する元回船問屋。震災で倒壊した家も多いなか、当時の町屋の面影を残し、大切に維持されている貴重な建物である。	
4-11		中尾家住宅	淡路市 江井	江井浦中心部で高見家に隣接する元商家。明治から戦前まで醤油の製造を行い、同時に呉服屋も営んでいた。現在は住宅として使用しているが、それらを忍ばせる付属建物が残っている。	

景観形成重要建造物等指定一覧（平成 21 年度第 5 次指定）

平成 22 年 3 月 30 日指定

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
5-1	阪神南	尼崎市立大庄公民館	尼崎市大庄西町	旧大庄村役場として、村野藤吾が独立後初めて設計した庁舎建築である。外壁は茶褐色タイル貼り、動植物の透かし彫りやレリーフなどの装飾が施され、当時の繁栄を彷彿とさせる建物である。	
5-2	阪神北	高碕記念館(※)	宝塚市雲雀丘	アメリカ人建築家ヴォーリスの設計によるアメリカンスタイルの洋館である。大正文化を象徴する洋館として、周辺地域のシンボリック存在となっている。	
5-3	阪神北	黒川小学校	川西市黒川	明治期の木造学校校舎が、ほぼ当時の姿のまま残っている。現在も公民館として使用され、地域のランドマークともなっており、地域活性化の資源としての価値も高い。	
5-4	北播磨	高井家住宅	加西市北条町	北播磨の交通の要衝として栄えた地域にある、江戸時代の伝統的な外観を残す町家。周辺では最も端正で風格のある外観で、繁栄期の商家の佇まいを今に伝える貴重な建物である。	
5-5	西播磨	松田家住宅	相生市相生	播磨造船所への渡船等を行っていた松田汽船株式会社の邸宅。軒下蛇腹や下見板風の壁、緑漆喰などの個性的な外観が地域のシンボルとなっている。	

※景観重要建造物に指定(H29. 12. 1)されたことから、同日付けで指定を解除した。

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
5-6	西播磨	老松酒造	宍粟市 山崎町 山崎	酒造業で隆盛を極めた山崎地区にある造り酒屋で、旧山崎町で最も古い町家とされる。主屋と壁続きの表蔵は、造り酒屋としての風格を有した佇まいを呈しており、地区の核となる建物である。	
5-7		山陽盃酒造	宍粟市 山崎町 山崎	酒造業で隆盛を極めた山崎地区にある造り酒屋。主屋は建築当時のままの伝統的な商家としての外観を保持しており、山崎の酒造産業を現在に伝える貴重な建物である。	
5-8		本家門前屋	宍粟市 山崎町 山崎	酒造業で隆盛を極めた山崎地区にある元造り酒屋で創業当時の蔵も現存する。肘木などの外観装飾が気品のある風情を醸し出しており、当時の繁栄の姿を現在に伝える重要な建物である。	
5-9	丹波	ゆうせきけん 幽石軒	丹波市 柏原町 南多田	背後の清水山の麓の高低差を生かした庭園の中にある茶室。うねる白壁越しに見える茅葺きの草庵風茶室は、庭に向けて張り出す特異な外観で、江戸時代の佇まいをよく残している。	
5-10	淡路	洲本城展望休憩所	洲本市 小路谷	昭和天皇の御大典を記念して昭和3年に建てられた日本最古の模擬天守閣である。三熊山の豊かな緑の中の点景として市民に親しまれ、洲本のランドマークとなっている。	

景観形成重要建造物等指定一覧（平成 22 年度第 6 次指定）



平成 23 年 3 月 29 日指定

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
6-1	阪神南	尼信記念館	尼崎市 東桜木町	尼崎信用金庫（旧組合）が大正10(1921)年に創業した当時の本店。明治時代に建築された当初の赤煉瓦をそのまま使い、昭和47(1972)年に復元したもので、尼崎に3つしか残っていない明治時代の赤煉瓦建築の一つである。	
6-2		NTT西日本 兵庫支店 芦屋別館	芦屋市 大榎町	旧逓信省の事務所として昭和4(1929)年に建設された、西洋建築様式を真似た阪神間モダニズムの外観を活かした建築物。貴賓室、外廊下や階段・エントランスは建設当時の姿で、結婚式場・レストランとして再生しており、地域景観のシンボルとなっている。	
6-3	阪神北	三田ほんまち 交流館 <small>えん</small> 縁	三田市 三田町	古くは三田のメインストリートであった三田本町通りに面する、商家の古民家を改修・再生した民設民営の多目的スペース。改修時に外観を伝統的な意匠に戻すことにより三田本町通りの景観のシンボルとなっている。	
6-4	東播磨	太陽酒造	明石市 大久保町	半切妻屋根、棧瓦葺きの酒蔵で、一番古い建物は明治末期頃の建築。江井島地区で操業している伝統的な形式の酒蔵は、現在ではこの建物が唯一残っているものとなり、西灘と言われた界隈の酒造りの歴史と雰囲気醸し出している。	
6-5	北播磨	稲見酒造	三木市 芝町	旧湯の山街道に面する酒蔵と事務所で、明治、大正、昭和初期の建物で構成されている。街道の入り口部分に面した事務所となっている建築物は建設時の意匠が維持されており、街道沿いの町並みの中で景観のシンボルとなっている。	
6-6		三宅徳松商店	三木市 芝町	旧湯の山街道に面する商家と離れで、現在も金物店の事務所として使用されている。母屋に隣接し、街道に面して建てられた離れと門塀は建設時の伝統的意匠が維持されており、街道沿いの町並みの中で景観のシンボルとなっている。	

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
6-7	中播磨	たずみ 田隅邸	市川町 谷	築 300 年以上の母屋と長屋門・蔵などの付属家で構成された旧庄屋の居宅。災害による損傷を受けた際も、元の意匠を損なわないように改修されており、神崎郡でも最も古いといわれる古民家の外観を維持している。	
6-8	西播磨	寺田邸	赤穂市 塩屋	赤穂の西浜塩田の有力地主の邸宅で、江戸時代中期の建築とされる母屋と大正期の建築である離れと土塀が旧備前街道に面している。建設時の意匠を維持した修復・保存がされており、地区の景観のシンボルとなっている。	
6-9	但馬	木彫展示館 (旧栃尾家住宅)	養父市 大屋町	築 120 余年の診療所だった古民家を再生し、平成 16 (2004) 年にオープンした施設。館内には全国各地から公募した「木彫フォークアート」の優秀作品が展示され、隣接した創作棟では木彫教室が行われるなど、文化交流の場として活用されている。	
6-10		村岡民俗資料館 「まほろば」	香美町 村岡区	現在、県内に数件しかない旧郡役所のひとつで、昭和 63 (1988) 年に復元された。構造は木造から軽量鉄骨造に変更されているが、窓台、玄関ポーチ、妻部の装飾は当時のものを再使用しており、建設当時の意匠を再現している。	
6-11	丹波	おおにや 大新屋 うえやま 旧上山代官所跡	丹波市 柏原町	母屋は入母屋屋根のツシ 2 階建て妻入りの建築物で、幕末頃の建築。離れは上山成績が屋敷西隣に陣屋として建設し、旗本の佐野正行によって「見栄亭 (けんえいてい)」と名づけられた。旧代官屋敷として古くから地域に親しまれている。	

景観形成重要建造物等指定一覧（平成 23 年度第 7 次指定）

平成 24 年 3 月 30 日指定

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
7-1	阪神南	夙川カトリック教会	西宮市霞町	<p>昭和 7 年に落成した聖堂は、ゴシック・リヴァイバル様式の壮麗な建物で、美しいステンドグラスや鐘の音が人々の心に安らぎと祈りの場を提供しており、夙川地域の景観のシンボルとなっている。</p> <p>また、明治末期から昭和初期にかけて育まれた「阪神間モダニズム」の雰囲気而今に伝えている。</p>	
7-2	東播磨	井澤本家	加古郡稲美町	<p>創業当時（明治 16 年）からの酒蔵で、伝統的な手法による酒造りを守り続けており、長屋門と伝統的様式の塀に囲まれた中に、主屋の大屋根や並び蔵の半切妻屋根の建築群が展開する姿は稲美地域の酒造りの歴史と雰囲気を今に伝えている。</p>	
7-3	但馬	生野書院	朝来市生野町	<p>大正 7 年建築の商家住宅を改修した主屋や蔵、官営生野鉱山長官邸正門を移築した由緒ある正門等の風格ある佇まいは、旧街道らしい通り景観を形成している。地域の歴史を伝える資料館及び地域活動の場として改修されており、生野地域の景観のシンボルとなっている。</p>	
7-4		進藤家住宅（※） （佐中千年家）	朝来市佐囊	<p>江戸時代には代々里正※を務めた進藤家の居宅であり、主屋は江戸時代前期の建築といわれている。入母屋茅葺きの主屋は建築当時の趣をとどめており、地元では「佐中千年家」として親しまれ、地域の景観のシンボルとなっている。</p> <p>※庄屋。村長。</p>	

※朝来市指定文化財に指定（H29. 3. 21）されたことから、同日付けで指定を解除した。

景観形成重要建造物等指定一覧（平成 26 年度第 8 次指定）

平成 27 年 3 月 20 日指定

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
8-1	阪神北	岡村酒造場	三田市 木器	<p>1889（明治22）年創業の歴史ある造り酒屋。</p> <p>敷地内に居宅と酒蔵が一体に配されるという、農村部における近代酒造業の形態を保っている。美しい農村景観の中に佇む茅葺きの居宅（江戸末期の建築）と酒蔵は、時を越えて地域住民に親しまれている。</p>	
8-2	中播磨	竹内家住宅	神河町 栗賀町	<p>景観形成地区に指定している「神河町中村・栗賀町地区」に建つ町家。</p> <p>生野にあった山師（鉱山業者）の邸宅を明治初期に移築したものである。生野街道（通称「銀の馬車道」）沿いに建ち、宿場町として栄えた当地区を代表する貴重な建築である。</p>	
8-3		龍野城	たつの市 龍野町 上霞城	<p>景観形成地区に指定している「たつの市龍野地区」に建つ城郭。</p> <p>江戸時代後期に描かれた絵図等を参考に、1975（昭和 50）年から 5 年をかけて再建された。城のない城下町だった龍野にかつての城郭をよみがえらせた意義は大きく、鶏籠山を背後に佇むその姿は龍野のシンボルとなっている。</p>	
8-4	西播磨	石堂家住宅	佐用町 大垣内	<p>近世より代々、当地で庄屋を務めた石堂家の邸宅。</p> <p>約 700 坪の広大な敷地の中に、江戸後期の建築と推定される茅葺き屋根の主屋等が配される。播磨地方の大型民家の特徴がよく表れた建築で、その風格のある佇まいは、周囲の農地や山々とともに豪壮な景観をつくり出している。</p>	
8-5		こうぎょう 廣業館 （旧廣業小学校）	佐用町 乃井野	<p>三日月藩の藩校「廣業館」の名を冠した廣業小学校の旧校舎。</p> <p>明治中期に建築され、三日月小学校が開校するまでの 70 年余りの間、学び舎として使用された。住民からの保存要望を受けて 1980（昭和 55）年に現在地に移築され、現在は柔道場として地域住民に親しまれている。</p>	

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
8-6	但馬	正垣家住宅	養父市 大屋町 大杉	<p>景観形成地区に指定している「養父市大屋町大杉地区」に建つ養蚕農家住宅。</p> <p>但馬地方では古くから養蚕が盛んで、それに適した独特の形態・意匠を有する住宅が各地に残っているが、中でも大杉地区は、それらの群がまちなみを形成し、往時の生業を物語る文化的景観を呈している。正垣家住宅・河辺家住宅ともに、当初、2階建てで建築された後、3階建てに改修されたとみられ、黄色い土壁や「抜気（ばつき）」と呼ばれる換気口、板戸となっている掃き出し窓などを含めて、この地域の養蚕住宅の特徴がよく表れている。</p> <p>いずれも今後、改修し、宿泊施設としての活用を予定している。</p>	
8-7		河辺家住宅	養父市 大屋町 大杉	<p>（This cell is merged with the previous row's text block for brevity and accuracy, as the content is identical and spans both rows.)</p>	
8-8	丹波	やかみ 八上小学校	篠山市 糯ヶ坪	<p>篠山城下町から南東約1kmの市街地外縁部に建つ小学校。</p> <p>昭和初期に建築された大規模な木造校舎で、住民からの保存要望を受け、2012（平成24）年に耐震補強を含む大規模改修工事を実施。美しく、安全に生まれ変わった校舎は、今も変わらず八上のシンボルとして愛されている。</p>	

景観形成重要建造物等指定一覧（平成 27 年度第 9 次指定）



平成 28 年 3 月 31 日指定

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
9-1	東播磨	岩佐家住宅	明石市野々上	<p>厨子 2 階建の主屋をもつ伝統的な農家住宅。</p> <p>播磨地域の農家の平面形式や外観を伝える主屋と土蔵が建ち並ぶ姿は、かつて農村として栄えた地区の風景を垣間見ることができ、地域から親しまれている。</p>	
9-2	北播磨	水田家住宅	加西市北条町横尾	<p>景観形成地区に指定している「加西市北条地区」に建つ町家。</p> <p>旧丹波街道沿いに建ち並ぶ他の町家とともに、大正・昭和期のまちなみ景観を残す。</p> <p>建物の一部がカフェや旅館として活用され、地区のまちづくり活動の核となっている。</p>	
9-3	但馬	旧グンゼ八鹿工場事務所棟	養父市八鹿町八鹿	<p>景観形成地区に指定している「養父市八鹿町八鹿地区」に建つ事務所建築。</p> <p>地区の伝統的なまちなみの中で、洋風意匠の外観が周辺景観に調和しつつも但馬における製糸業の近代化の象徴として、地域の景観のシンボルとなっている。</p>	
9-4		おおやアート村「ビッグラボ」創作棟（旧八鹿高等学校大屋校木造校舎）	養父市大屋町加保	<p>平成 22 年に廃校となった旧八鹿高等学校大屋校の木造校舎。</p> <p>懐かしさや温もりを感じる木造校舎がアートの拠点として再生され、地域の景観のシンボルとして住民に親しまれている。</p>	
9-5		生野高原の いぬわしざくら 狗鷲桜	朝来市生野町柄原	<p>生野高原の緑豊かな自然景観を背景に、特徴的な樹形で自生するヤマザクラ。</p> <p>開花時には数多くの花を咲かせ、岩に根を張り、四方に勇ましく枝を広げる姿は、イヌワシを想起させ、ひと際目を引くシンボルとなっている。</p>	
9-6	丹波	畑家住宅	丹波市春日町多利	<p>水田と山並みが調和する農村景観の中に建つ、かつて酒造りを営んだ伝統的な農家住宅。広い敷地の中にある主屋の大屋根や蔵、白漆喰塗り仕上げで棧瓦葺き屋根の塀などが、地域の景観のシンボルとなっている。</p>	

景観形成重要建造物等指定一覧（平成 28 年度第 10 次指定）

平成 29 年 3 月 31 日指定

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
10-1	東播磨	高砂通運 旧本社屋	高砂市 高砂町 鍛冶屋町	<p>「高砂市高砂地区景観形成地区」内の高砂銀座商店街の入口に位置する事務所建築。</p> <p>平成29年に国の登録有形文化財に登録される予定。</p> <p>昭和初期の高砂町の近代化を象徴する建物であり、洋風の外観は、周囲の景観のアクセントとなっている。</p>	
10-2		コヤノ美術館 西脇館 (旧藤井家住宅)	西脇市 市原町	<p>地域の発展に尽力した豪農の居宅として建設された農家住宅。</p> <p>主屋等は明治中期から大正期にかけて建てられ、各時代の特徴的な意匠が見られる。むくりをもった主屋の大屋根や周囲を囲む塀は地域のランドマークとなっている。</p>	
10-3	北播磨	西脇区 消防会館	西脇市 西脇	<p>昭和初期に建設された消防団詰所。</p> <p>市内に消防署が建設される前から現在に至るまで地域の安心を支えている。車庫扉上部の装飾等の外壁意匠が特徴的であり、正面に高くそびえる警鐘台とともに地域景観のシンボルとなっている。</p>	
10-4		地藏一本桜	西脇市 郷瀬町	<p>杉原川の堤防に生育する桜。</p> <p>60本あった桜並木のうちの現存する一本で、住民により樹木の管理が行われている。</p> <p>市内でも特に早咲きの桜として春の訪れを告げ、杉原川を彩る姿は地域のシンボルとなっている。</p>	
10-5	但馬	西方寺の しだれ桜	養父市 八鹿町 八木	<p>国道9号に面する西方寺の境内に生育するシダレザクラ。</p> <p>八木城跡がある山の麓で、石垣を覆うようにしだれる枝は、毎年豊かな花を咲かせ、その特徴的な景観からアイストップとなり、地域住民や通行者の目を楽しませている。</p>	

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
10-6	但馬	浜坂の クロマツ群	美方郡 新温泉町 芦屋	<p>浜坂県民サンビーチに広がる松林。</p> <p>日本海からの潮風や飛砂から住民の生活を守るために植樹され、現在も「松の庭」として親しまれている。海、砂浜を背景として松林が立ち並び、雄大な自然景観を形成している。</p>	
10-7	淡路	春陽荘 (旧米田家 住宅)	洲本市 宇山	<p>昭和初期の洋館や母屋等の和風建築群からなる住宅兼事務所。</p> <p>道路沿いの塀越しに見える洋風意匠の外壁や重厚な瓦屋根は、背景の自然とともに地域景観のシンボルとなっている。</p> <p>現在は、宿泊施設や文化活動拠点等として活用されている。</p>	

景観形成重要建造物等指定一覧（平成30年度第11次指定）

平成30年9月4日指定




番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
11-1	東播磨	旧高砂消防会館・南本町巡查派出所	高砂市 高砂町 南本町	<p>県条例に基づく高砂地区歴史的景観形成地区内にある、昭和初期の消防会館及び派出所。</p> <p>RC造のモダン洋風の意匠が特徴的である。屋上の火の見櫓とともに、周囲景観のランドマークとなっており、平成28年に国の登録有形文化財にもなっている。</p>	
11-2	北播磨	あびき 網引駅前の大イチョウ	加西市 網引町	<p>北条鉄道網引駅前に生育する大イチョウ。</p> <p>地域住民により管理清掃が行われ、憩いの場ともなっている。視認性が高く、周囲が黄色いじゅうたんを敷いたようになる秋の落葉の様子は、特に人々を魅了する景観となる。</p>	
11-3	中播磨	旧大山村役場	神崎郡 神河町 杉	<p>「銀の馬車道」沿いに位置する、戦後まもない時期の洋風を基調とする地方の庁舎建築。</p> <p>玄関ポーチを中心にシンメトリーに構成され、存在感のある大屋根により、周辺景観のランドマークとなっている。</p> <p>現在は地域の観光・交流拠点の役割も果たしている。</p>	
11-4		おおとし 大年神社の めおとすぎ 夫婦杉	神崎郡 神河町 杉	<p>「銀の馬車道」に面する大年神社の境内に、寄り添うように生育する2本のスギ。</p> <p>説明板や標柱を立てるなど、日常の管理とともに、地域住民により大切にされている。</p> <p>周囲に眺望をさえぎるものはなく、地域のランドマークとなっている。</p>	
11-5	西播磨	梶間家住宅	宍粟市 山崎町 山崎	<p>山崎地区が興隆する初期に当たる明治中期に建てられた町家建築。</p> <p>特に規模の大きい広い間口を持つ主屋の1階には格子を巡らし、2階には白漆喰壁に虫籠窓を設けている。建設当初の姿をよく伝え、高いランドマーク性を有している。</p>	

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
11-6	西播磨	中門前屋	宍粟市 山崎町 山崎	<p>酒造業で隆盛を極めた山崎地区で、戦前まで醤油造りを行っていた江戸時代の町家建築。</p> <p>厨子2階建ての建物が多い中、2階に高さがあるのが特徴で、周辺の造り酒屋の建物とともに、歴史的景観を形成し、地区のシンボルとなっている。</p>	
11-7		山崎藩陣屋門 (紙屋門)のクスノキ	宍粟市 山崎町 鹿沢	<p>山崎城跡内に唯一現存する遺構の山崎藩陣屋門の前に生育するクスノキ。</p> <p>周辺からの視認性が高く、枝ぶりが良いため、力強い印象を受ける。</p> <p>陣屋門と一体となって地域のシンボルとなっている。</p>	
11-8	但馬	平尾家住宅	豊岡市 森尾	<p>森尾集落の中心に位置する、県内屈指の大地主であった平尾家の住宅建築群。</p> <p>茶色の石州瓦屋根の主屋には、大きな越屋根が載っており、一際目を引く。周囲に塀を巡らし、長屋門を設けるなど、風格が感じられ、地域のランドマークとなっている。</p>	
11-9		くちがな や ぎんざんまち 口銀谷銀山町 ミュージアム センター (旧浅田邸、 旧吉川邸)	朝来市 生野町 口銀谷	<p>銀山のまちとして栄えた生野町の盛期の住宅。</p> <p>入母屋屋根の主屋や洋館などの旧浅田邸と生野瓦の主屋と蔵の旧吉川邸が通りに面して並び、生野町の建築文化を今に伝えている。</p> <p>現在は地域の観光・交流拠点の役割を果たしている。</p>	

景観形成重要建造物等指定一覧（令和元年度第12次指定）

令和2年1月21日指定

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
12-1	阪神北	東多田 ^{むしやうあん} 夢勝庵	川西市 東多田	江戸後期に建てられた、西村家の庄屋住宅。 長屋門と築地塀が、江戸後期に植えられたカイズカイブキや高さ20mの二本杉が育つ庭と主屋を取り囲み、規模の大きな屋敷の風格を今に伝えている。隣接する田畑とともに、地域の景観のシンボルとなっている。	
12-2		前田家住宅	三田市 屋敷町	大正後期に建てられた、前田氏の個人住宅。 複雑な屋根形状に赤瓦を葺き、半円アーチ窓を並べたスパニッシュスタイルが、良好に保存されている。阪神間で昭和初期に流行した様式の先駆的事例であり、武家屋敷群から近代的な住宅地への景観の変化を、特徴的に示した建物である。	
12-3	東播磨	たき ^{たき} 多木化学本社	加古川市 別府町 緑町	肥料・化学製品メーカー多木化学(株)の事務所として、大正初期に建てられた下見板コロニアルスタイルの木造事務所。 全面を黒く塗った外壁の四周に、社章である「神代鍬印」が白く描かれた個性的な外観を持つ。地域の発展を導いた企業のシンボルとして、創建時の姿をよく残している。	
12-4		たき ^{たき} 多木浜洋館	加古川市 別府町 東町	多木製肥所（現多木化学(株)）の創業者が15年かけて昭和8年（1933）に建設した、木造4階建ての迎賓館。 建物全体を銅板で覆う外観から「あかがね御殿」と呼ばれ、独特の豪華絢爛さを有し、多様な様式を混交した他に例のない独特の景観を形成している。	
12-5		おおとし ^{おおとし} 大歳家住宅	加古川市 別府町 新野辺	天保10年（1839）以前に建築された、大歳家の大庄屋住宅。 主屋の四周を長屋、長屋門、蔵、隠居部屋が囲んでいる。焼杉板と一部漆喰塗りの外壁や塀が街区規模の敷地を囲んでおり、住宅地開発が進む周辺地区の中で、江戸期に遡る建物群が一体的な景観を形成している。	

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
12-6	但馬	大石家住宅	豊岡市 但東町 矢根	<p>矢根集落の中心となった大石家の分家が、明治から昭和初期に建てた庄屋住宅。</p> <p>入母屋造の主屋の大屋根を築地塀が囲み、切妻造棧瓦葺の屋根と漆喰壁、板壁、築地塀が連続する屋敷構えは、明治初期以降の近代民家の形成過程と全体像を今に伝えるものである。</p>	
		たじめ 田治米合名 会社酒造場	朝来市 山東町 矢名瀬町	<p>元禄15年（1702）創業の酒造家の酒造工場と住宅。</p> <p>江戸後期の旧醬油蔵、明治・大正期の木造酒蔵、昭和期のRC造清酒工場などの施設群は白壁で統一され、創業家住宅の板壁と赤土塗り壁とともに、酒造施設が地域を代表する景観の核を成している。</p>	
12-7	丹波	西山酒造場	丹波市 市島町 中竹田	<p>嘉永2年（1849）創業の酒造家の酒造工場と住宅。</p> <p>明治期の主屋と昭和初期の塀が棧瓦葺き、腰板張り、漆喰塗りと連続して、歴史的景観を形づくっている。奥に建つ離れや酒蔵は歴史的要素を継承した統一された意匠を備えている。</p>	

景観形成重要建造物等指定一覧（令和2年度第13次指定）




令和3年1月22日指定




番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
13-1	神戸	すいしゃしんでん 水車新田 おおとし 大利家住宅	神戸市 灘区 大土平町	江戸中期以前から絞油業を営んだ大利家が、江戸末期に建てた絞油・精米・製粉に関わる施設。明治末期からは住宅。 坂道に沿って、六甲花崗岩の石積塀、棧瓦葺の塀越しに白漆喰塗壁の蔵、連なる松、高くそびえるヒノキが際立ち、一体的な景観を形成している。	
13-2	阪神南	六角堂	西宮市 今津二葉町	明治15年（1882）に建築された今津小学校の校舎。 長野県松本市にある国宝の旧開智学校に次ぐ洋風小学校として、正面中央に突き出した六角形（正確には八角形の半裁）の張り出しが特徴的。酒蔵通り沿いに建つ景観は、地域のシンボルとなっている。	
13-3	東播磨	梅谷家住宅	加古郡 播磨町 宮北	旧阿閑村（播磨町の前身）で代々庄屋を務めた大地主が、昭和初期に建てた別宅。 播磨小学校の前で、平屋建ての主屋と二階建ての離れを焼杉板張と漆喰塗の塀が囲み、戦前から高度成長期の住まい方の変遷が残されている。	
13-4	北播磨	せいう えもん 黒田清右衛門 商店	三木市 本町	明和2年（1765）創業の金物問屋が、江戸末期の主屋を中心に、明治期から大正・昭和期に建てた店舗兼住宅。 旧街道の結節点にある三木中心部には、歴史的建物が多く残っている。金物のまち・三木を象徴する大鋸の看板を正面に掲げる当建物は、地域の伝統的景観の核となっている。	

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
13-6	但馬	ひょうとぶ兵	豊岡市 中央町	<p>弘化4年(1847)創業の老舗料亭が、昭和4年(1929)に建てた豊岡を代表する料亭。</p> <p>近年活況を呈しつつある商店街のカバンストリート東南端にあつて、地域活動拠点として活用される木造の近代和風建築が、創建当初からの外観をよく残している。</p>	
		木村家住宅	朝来市 山東町 柴	<p>元禄3年(1690)創業の酒造会社の当主が、明治16年(1883)に建てた住宅。</p> <p>規模の大きい主屋、大門を中心に、鮮やかな黄土の蔵の壁と同色の長い土塀が、創建当時の姿を残している。但馬の山並みを背景に、大小の瓦屋根が連なる一体的な景観を構成している。</p>	
13-7	淡路	つちが槌賀家住宅	南あわじ市 賀集鍛冶屋	<p>江戸中期から淡路島に代々続く大地主が、文政12年(1829)に建てた住宅。</p> <p>越屋根を備えた主屋を、長屋門・蔵・風呂・新座敷・石積土塀が囲んでいる。集落の中に、江戸後期から近代における伝統的形態の建物が、群として一体の景観を構成している。</p>	

景観形成重要建造物等指定一覧（令和3年度第14次指定）

令和4年2月22日指定

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
14-1	阪神北	にんべ 仁部家住宅	川辺郡 猪名川町 上阿古谷	<p>元文3年（1738）頃に建てられた武家の住宅で、勾配が強く規模の大きい茅葺き屋根の連なりと、長屋門の組み合わせが特徴的である。</p> <p>防御の機能も兼ねたと推定される池に映し出される建物の姿は無二のものである。</p>	
14-2	東播磨	土田家住宅 旧魚橋郵便局舎 ・土田家離れ	高砂市 阿弥陀町 魚橋	<p>明治37年（1904）に建てられた郵便局舎及び土田家の住宅離れ。明治期の郵便制度の始まりから郵便取扱人となった土田家によって当建物が建てられ、郵便業務を行っていた。</p> <p>明治から昭和期にかけての郵便制度の確立に役割を果たした建物が創建当時に近い形で残されている。</p>	
14-3	北播磨	みすず 三寿ぶ刃物 製作所	三木市 本町	<p>明治18年（1885）頃に使ったと伝わっている店舗兼住宅で昭和初期に現所有者の手に渡り、戦後より包丁店を営んでいる。</p> <p>三木の中心である旧街道の交点にあり、金物産業を中心として発達してきた地域の歴史を現在に伝えている。</p>	
14-4		社連合区 公会堂	加東市社	<p>昭和17年（1942）に建てられた公会堂で、現在は就労支援の作業所として貸し出されている。</p> <p>創建当初から外観、内観ともに大きな変更なく、当時の公会堂の姿を残しており、現在のまちなみにおいても独自の特徴を示している。</p>	

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
14-5	西播磨	三日月藩御殿医 山内家住宅	宍粟市 山崎町 青木	<p>明治5年(1872)頃に建てられた住宅。</p> <p>三日月藩に御殿医として召し抱えられた山内家が代々この地に住宅を構えており、県道53号線から望むことのできる地域の名家である。石垣と白漆喰壁、奥に控える主屋の大屋根の姿は他に見られぬ屈指のものである。</p>	
14-6	但馬	ソーシャル デザイン リガレッセ	豊岡市 日高町 荒川	<p>160年ほど前に大庄屋の井上家の住宅として建てられ、平成29年(2017)に現所有者により介護施設として改修された。</p> <p>県道沿いに長く続く板塀とその奥に見える規模の大きな主屋と高木が一体となった景観を構成している。</p>	
14-7	淡路	せんねんいち 千年一酒造	淡路市 久留麻	<p>明治期から大正期にかけて建てられた酒造所。</p> <p>淡路島では数少なくなった酒造所の一つであり、阪神・淡路大震災での被災による一部の蔵の建替えはあったものの、淡路島の伝統的な造り酒屋の景観が現在に伝えられている。</p>	

景観形成重要建造物等指定一覧（令和4年度第15次指定）

令和5年2月28日指定

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
15-1	阪神北	蕎麦いち (旧小谷家住宅)	三田市 三田町	昭和初期に建てられたと伝わる住宅で、平成23年(2011)から飲食店を営業。 昭和戦前の建築でありながら伝統的形式を踏まえており、それがほぼ姿を変えずに現存し、周辺の寺院とともに歴史的景観の連続性を保つ要素の一つとなっている。	
15-2	北播磨	旧下比延公会堂 (鹿野町ふれあい館)	西脇市 鹿野町	昭和初期に公会堂として内藤克雄の設計により建てられ、公民館としての活用を経て、平成12年(2000)から地域の集会所として活用。 増築部分はあるものの、外観内観ともに大きな変更がなく、当時の公会堂の姿や内藤克雄建築の特徴を現代に伝える。	
15-3	北播磨	富久錦株式会社	加西市 三口町	江戸後期から平成期にかけて増築を繰り返しながら建てられた酒蔵や事務所等。 各時代の酒蔵等の酒造関連建物の姿を残し、国道沿いに並ぶ4棟の大規模な酒蔵が一体的な景観を形作り、比較的小規模な盆地の中で際立った姿を見せている。	
15-4	西播磨	坂越まち並み館	赤穂市 坂越	大正前期に建設後、銀行として活用され、平成6年(1994)から地区の景観活動拠点等として活用。 市の市街地景観形成地区内の景観・観光における中心的な建物の一つで、往時の外観がよく残され、播磨地方における銀行創世期の姿を伝えるものである。	

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
15-5	但馬	但馬安国禅寺とドウダンツツジ	豊岡市 但東町 相田	<p>明治初期から平成期にかけて増築を繰り返しながら建てられた寺院及び明治初期に植えられた樹木。</p> <p>但馬地域における近代禅宗寺院の姿を伝える建物と地域によって育まれたドウダンツツジが一体となって美しい景観を生み出している。</p>	 
15-6		水垣家住宅	養父市 吉井	<p>江戸期から昭和初期にかけて増築を繰り返しながら建てられた住宅。</p> <p>江戸期まで家系を遡ることができる豪農の屋敷で、一部が滅失した他は元の状態がよく残り、各時代の特徴を表わす建物群がひとつの敷地にまとまって歴史的景観を現在に伝えている。</p>	
15-7	丹波	旧西垣家住宅	丹波市 柏原町 柏原	<p>明治後期に建てられた住宅。</p> <p>地域の公共建築を手掛けた大工棟梁の自邸で、外観は建築当時から大規模な改修や増築は行われておらず、周辺の住宅が建て替わっていく中で、明治後期の城下町柏原における良質な住宅の建築当時の姿を現在に伝えている。</p>	

景観形成重要建造物等指定一覧（令和5年度第16次指定）

令和6年2月20日指定

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
16-1	東播磨	いでしおかん 出汐館	高砂市 西畑	1936（昭和11）年に鐘紡人絹工場の操業に合わせて建設され、現在は（株）カネカの福利厚生施設として活用。 アール状の壁面を持つ階段室が特徴。日本の近代化を支えた産業界の発展の様子を現代に伝える。	
16-2	北播磨	にいめ 新雌邸 （旧岡澤家住宅）	西脇市嶋	明治中期に建てられた住宅を、播州織の作家が体験宿泊施設として活用予定。 地域内でも大きな規模の屋敷構えで、むくりのある大屋根や装飾的な意匠など、この地域の発展を現在に伝える。	
16-3	中播磨	旧小國家住宅	神崎郡 福崎町 山崎	江戸末期に建てられた住宅と長屋門、昭和25年に建てられた診療所を、宿泊施設、店舗等として活用。 地域の中で担ってきた役割に合わせて改変しつつ、かつての庄屋の屋敷構えを残している。	
16-4	西播磨	富岡家住宅	揖保郡 太子町 糸井	1922（大正13）年頃 に建てられた住宅で主屋、長屋門など当初の屋敷構えが残っている。 木製ガラス窓やステンドグラス、造作の細部にモダンな生活に向けて変化する大正時代の特徴を今に伝える。	
16-5		たつ乃屋本店	佐用郡 佐用町 平福	明治期に建てられた醤油蔵、倉庫、住宅等が因幡街道沿いに建ち並ぶ。 切妻平入の町家が連なる中、倉庫の妻面が象徴的であり、地域の生活に密着した生業とともに、今なお当時の外観を残しつつ使用されている。	
16-6	丹波	本上田邸 （上田家住宅）	丹波市 春日町 棚原	明治後期に建てられた住宅で、主屋は「撰丹型民家」の平面と「妻入町家」の外観の特徴をもつ。 推定樹齢450年の大きなクスノキと一体となった構えは、庄屋として地域の中心的な存在であったことを現在に伝えている。	

景観形成重要建造物等指定一覧（令和6年度第17次指定）

令和7年2月12日指定

番号	地域	名称	住所	選定の理由等	写真等
17-1	東播磨	花井家住宅	高砂市 高砂町	<p>明治後期に建てられ、かつて肥料問屋を営んでいたが、現在は地域のまちづくり活動に活用されている。</p> <p>通りが直行する角地にあり南面、東面が象徴的な厨子二階建ての建物で、水運の拠点として栄えた高砂町の当時の町屋の特徴をよく残している。</p>	
17-2	北播磨	蛭田理研事務所	西脇市 西脇	<p>昭和10年に紡織産業に関わる会社の事務所兼用住宅として建てられた。</p> <p>正面中央の迫り出し部は、水平なパラペットや曲面の端部など優美な印象を与える工夫がされており、正面性や中心性が強調された外観が特徴。北播磨地域を代表する建築家である内藤克雄の設計で、地場産業である播州織とともに発展した地域の繁栄を伝えている。</p>	
17-3		旧黒田家住宅	三木市 本町	<p>江戸後期に建てられたとされる住宅。向かいの建物は、現存する三木市内最古の金物問屋である黒田清右衛門商店であり、当建物は黒田家の本家により建てられたと伝えられている。</p> <p>旧街道の結節点にある三木の中心部に位置し、周辺に残る歴史的建物とともに三木市の街道沿いの歴史的な景観を形成している。</p>	
17-4	西播磨	江見家住宅	佐用郡 佐用町 三日月	<p>江戸後期に建てられたとされる住宅で、西播磨地域を領した赤松氏の一族である江見家の分家である。</p> <p>大庄屋であった屋敷の建物群が、周辺の山や水田と調和し、良好な景観を形成している。</p>	

景観形成重要建造物等指定一覧（令和7年度第18次指定）

令和8年3月31日指定

	地域	名称	所在地	選定の理由等	写真等
18-1	但馬	佐川家住宅	豊岡市城南町	江戸末期に建てられたとされる住宅で、佐川家は合併前の豊岡町長を代々務めており、初代豊岡市長佐川辰夫もその分家筋に当たる。近世から続く但馬屈指の名家として、本卯建を備えた大規模な平入の主屋や複数の蔵は、北但大震災を経てもなお、大きな改変なく現在までその姿を伝えている。	
18-2	東播磨	旧三星化学事務所	高砂市高砂町	昭和5年に原料商や運送業に関わる会社の事務所併用住宅として建てられた。江戸時代には港町として繁栄した水運の拠点であったが、明治時代以降、鉄道・道路等の発達とともに陸運による流通網が形成された高砂町において、当建物は高砂町の近代工業都市としての繁栄と旧国鉄高砂駅前の近代化により増加した運送業を営む社屋が立ち並んでいた歴史を伝えている。	
18-3	丹波	旧田原家住宅	丹波市柏原町	江戸末期、後期柏原藩陣屋下屋敷に建てられたとされる五代藩主信守四男津田長敏邸。茅葺に半間の棧瓦葺の下屋を設けた武家屋敷造の建屋は、過度な贅沢を避けた構成ながら、武家としての格式と秩序は維持されたものであり、地方小藩に属する上級から中級武士の実際の居住空間をほぼ当時のまま現存しており、江戸末期の武士の生活文化を今に伝えている。	
18-4	淡路	永田家住宅	南あわじ市倭文長田	明治中期に建てられたとされる住宅で、貴族院議員や東京市長等を歴任したほか、俳人（俳号：永田青嵐）としても知られる永田秀次郎氏の生家である。主屋のほか離れ座敷、家具蔵、長屋門、土蔵などの附属屋や石積みみの池も明治中期から大正期に建築されたもので、一部後世の改修が見られるものの近代における大規模農家の屋敷構えをよく伝えている。	

	地域	名称	所在地	選定の理由等	写真等
18-5	西播磨	庄家住宅	宍粟市山崎町	江戸末期に建てられた住宅で、庄家は山崎藩の庄屋、大庄屋を長く務めた家で、二千以上の古文書が残されており、大庄屋の職務に関連した貴重な資料が多く、山崎町史にも引用されている。現在も大庄屋としての姿がよく残されており、播磨地方の豪農の伝統的要素が色濃くみられ、山崎藩の歴史を伝えている。	
18-6	但馬	中藤田家住宅	新温泉町諸寄	明治後期に建てられた住宅で、中藤田家は、江戸中期から廻船業を営み、北前船の繁栄とともに財を成しており、平成30(2018)年に廻船問屋「網干屋・中藤田家」として日本遺産「北前船寄港地・船主集落」の構成文化財に認定されている。隣接する藤田家、右岸にある分家の東藤田家や千原屋・道盛邸と共に、北前船寄港地の繁栄と歴史を今に伝えている。	